

令和4年度 学校評価表

評価項目等

能登町立柳田小学校

進捗	評価項目	今年度の重点項目	担当者	評価標準・評価の観点	具体的な取組	実績状況の達成度判断基準	時期・評価材料	自己評価	取組の成果と今後の改善策	学校評価
1	1 学力の向上	【創意工夫のある授業づくり】 ①児童にとって「楽しい」「なるほど」「分かった」など、実感できる授業を展開することで、自ら学びへと向かう力を高める。	研究主任	授業の導入で興味を持たせる課題を与えている。	・外部講師からの学び ・授業づくりの創意工夫	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート2,3 保護者アンケート2 職員アンケート1	82.6 85.1 76.8 69.7	B 78.6	B 79.2%
			研究主任	教材研究を充実し、進んで学習する子の育成に努めている。	・教材研究の充実	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート4 職員アンケート2,3	77.2 78.8 63.6	B 73.2	
			研究主任 GIGA推進教師	『模擬授業』『研究授業』『GIGA研修』等により、授業力の向上が図られている。	・授業力向上に向けての校内研修の充実 ・GIGA校内研修の充実 ・外部講師招聘の研修会	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート4 職員アンケート4	77.2 81.8	B 79.5	
		研究主任	漢字テスト・計算テストにおいて、全児童が合格をめざし努力している。	・家庭学習時間 ・自学ノート ・漢字テスト ・計算テスト など	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 90%以上 B: 70%以上90%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート6 職員アンケート5 保護者アンケート3	88.0 92.6 63.4	B 81.3		
		図書館担当	読書の時間において、集中し、かつ楽しみながら読書活動の推進が図られている。	・朝読書の充実 ・言葉のスケッチ ・図書室の利用	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート7 職員アンケート6	67.0 70.4	C 68.7		
		研究主任	週末日記、名文暗唱等を通して、自分の語彙を増やし豊かな表現ができるようにする。	・毎月の名文暗唱 ・言葉のスケッチ ・行幸作文	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート8,9 職員アンケート7,8	76.8 86.6 70.4 75.0	B 77.2		
2	豊かな心の育成	①自分の夢や目標をもち、その実現に向かって努力し続けることの大切さを実感させる。	生徒指導主事	自分に良いところがあると感じることができ、一生懸命になれることがあると感じている。	・係り活動 ・個々の良さを引き出す役割分担	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート10 保護者アンケート5 職員アンケート9	87.3 79.7 83.3	B 83.4	B 83.3%
		②教育活動全般を通して必ず一人一人に活躍の場を設け、自己有用感を実感させる。	道徳推進教師	道徳の授業を充実させることで、自他の存在を大切にしようとする行為や意識を高めている。	・道徳教育の充実 ・言葉のスケッチ ・体験活動の充実	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート11 保護者アンケート4 職員アンケート10	79.3 73.9 74.1	B 75.8	
		③地域の人や自然、伝統行事を学ぶ機会を設け、その良さや素晴らしいことに触れて「感動」を味わうことで、心を豊かにし、地域に誇りと愛着が持てるようにする。	教務主任	児童は、地域行事や地域の各種団体との交流等の体験活動等を通して、他とのかかわりを意識し、地域のよさを感じ取り、規範意識や郷土愛を深めている。	・地域行事への参加呼びかけ、地域への学校支援依頼	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート12,13 保護者アンケート7,8 職員アンケート11,12	82.2 77.9 68.1 60.9 84.6 75.8	B 74.9	
3	体力・生活習慣の向上	①家庭と連携した安全教育・健康教育を推進し、心身ともに健康な児童を育成する。	安全教育担当 養護教諭 保健主事	学校保健委員会の開催を通して、ノー画面デーなど、児童の安全面や健康面に努めている。	・ノー画面デー ・AED講習会 ・プール当番 ・非行被害防止講座 ・学校保健委員会	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート15,16 保護者アンケート10,12	83.3 79.0 70.7 50.0	B 70.8	B 83.3%
		②「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムと、自律した生活習慣に努める。	保健担当	学校保健目標のもと、睡眠や食生活など健康な生活に関する意識を高め、規則正しい生活習慣を身につける。	・年間を通じた体力・運動能力づくり	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート14 保護者アンケート9 職員アンケート13	81.2 66.7 72.2	B 73.4	
		③「スポチャレいしかわ」「いしかわっ子駅伝」等に積極的に参加し、自身の目標に挑戦・努力し、やり遂げることで生まれる達成感を味わうことができるようにする。	体育担当	「スポチャレいしかわ」の取組が計画的に行われている。「マラソン大会」「水泳」「なわとび大会」「いしかわっ子駅伝」の参加を通して様々な記録に挑戦している。	・町や県の大会への積極的な参加	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート17,18 保護者アンケート11 職員アンケート14,15	84.8 87.0 70.3 56.7 84.6	B 76.7	
4	安心安全な学校	①注意深く児童を観察し、児童の変化に気づくことでいじめ・不登校の未然防止に努める。	教務主任 特別支援教育コーディネーター 生徒指導主事	児童理解の会を行い、共通理解と共通指導の徹底に努めている。	・児童の状況の的確な把握と、それに基づいた適切な指導	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート1,19 保護者アンケート1,13 職員アンケート1,9	85.9 92.4 86.2 81.9 69.7 83.3	B 83.2	A 87.5%
		②風通しの良い学校づくりを行い、悪い情報ほど報道相し合える体制をつくる。	教頭 教務主任	教職員間だけでなく、児童や保護者にとっても相談しやすい雰囲気づくりに努めている。	・定期的な服務規律の研修 ・信頼関係づくりスキル	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	児童アンケート21 保護者アンケート14 職員アンケート24	84.1 83.3 76.9	B 81.4	
		③環境整備と計画的な訓練を行い、危機管理マニュアルの定期的な確認と見直しをする。	教頭 教務主任 保健主事 安全教育担当	児童が生活する場の施設・設備について教育環境が整備されている。	・安全点検 ・清掃活動 ・避難訓練の充実 ・アレルギーへの対応	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	保護者アンケート18 職員アンケート16,18	85.1 83.3	B 84.2	
5	家庭・地域との連携	①地域の声や、保護者の思いを大切に受けとめ、教育活動にいかしていく。	教頭	保護者・地域・学校が力を合わせて教育活動に取り組んでいる。	・除草作業 ・資源回収 ・PTA役員会等	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	保護者アンケート15 職員アンケート19	81.9 76.9	B 79.4	A 91.7%
		②地域の人材・素材を活用・教材化し、地域の教育力を生かした教育課程を編成し実践する。	教頭 教務主任	地域の素材を元に、学習活動を行ったり、地域の人材を活用したりして、地域の教育力を積極的に活用している。	・地域の方をゲストティーチャーに招いた道徳の授業	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	保護者アンケート16 職員アンケート20	84.4 66.7	B 75.6	
		③学校公開、授業参観を定期的に行い、保護者・地域に開かれた学校づくりを行う。	教頭	HPの更新、学校だよりや学級だよりの定期的な発行等、学校公開、授業参観を通して、日々の教育活動を保護者や地域に伝えている。	・地域・保護者を対象とした公開授業 ・各種お便りの定期的な発行、ホームページの更新による情報発信	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	保護者アンケート17,19 職員アンケート21	84.8 89.5 77.8	B 84.0	
6	働き方改革と、組織力の向上	①前例踏襲することなく、効率化や改善を意識して日々の業務に取り組む。	教頭 教務主任	働き方改革を意識して、実施している。	・定時退校日や定時退校時間の設定 ・校務分掌の複数体制化	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	職員アンケート25	73.8	B 73.8	B 79.2%
		②学校運営への参画意識を高揚し、全職員が一丸となつて協働する体制づくりをする。	教務主任 教頭	各担当を中心にそれぞれの項目の結果に基づいた、指導改善策が示され、組織的に取組が行われている。	・学校評価の結果を生かした学校運営	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	職員アンケート22	78.6	B 78.6	
		③YSS（若プロ研修）を活性化し、若手もベテランも人間力と同時に学校力を高める。	教頭 教務主任	様々な行事、教材研究等において、学び合い、教え合うことでそれぞれの良さを吸収している。	・職員同士の関わり合いを大切にしたい「学び合い」の充実	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 60%以上70%未満 D: 60%未満	職員アンケート23	82.1	B 82.1	